

機械器具 29 電気手術器
一般医療機器 電気手術器用ケーブル及びスイッチ 70657000

ERBE 電気手術器用ケーブル

ICC-APC 接続ケーブル

【形状・構造及び原理等】

本品はエルベ社製電気手術器 ICC シリーズとアルゴンガス供給装置 APC300 とをつなぐ専用ケーブルである。



20189-022 接続ケーブル ICC-APC300 用（4 ピン／4 ピン）0.35m
20189-024 接続ケーブル ICC-APC300 用（4 ピン／4 ピン）5m



20192-115 高周波ケーブル（ICC/APC 前面接続用）0.5m
20192-116 高周波ケーブル（ICC/APC 接続用）4m

最大許容高周波電圧は 5000Vp（20192-115、20192-116）である。

●原理

使用する電気手術器からアルゴンガス供給装置に電源等を供給する。
（両コネクタ間の抵抗は 1Ω以下）

【使用目的又は効果】

手術用電気機器として使用される医療機器と、これらに接続し制御する装置との間にて信号等を伝達し、電源を供給し、これにより両者の接続を延長するために用いられるケーブルである。

【使用方法等】

●使用方法

1. 【保守・点検に係る事項】を参照し、本品を使用する前に必要に応じて洗浄・消毒・滅菌すること。（20192-115、20195-116 のみ）
2. 【保守・点検に係る事項】の「使用前点検」を参照し、使用前点検を実施する。
3. 本品を電気手術器及びアルゴンガス供給装置に接続する。
4. これ以降の操作は併用する機器の操作に準じて行う。

【使用上の注意】

●重要な基本的注意

- ・ 使用する前に、本品の電気手術器、アルゴンガス供給装置への接続が正確かつ完全であることを確認すること。[不完全な接続により、装置の動作不良となる可能性があるため。]
- ・ 本品、その他の併用機器及び患者に異常が無いことを常に監視し、異常が認められた際には患者に安全な状態で適切な処置を講ずること。
- ・ 本品を患者の上若しくは近傍に置かないこと。[熱傷及び電気ショックのおそれがあるため。]

【保管方法及び有効期間等】

●保管方法

- ・ 高温、多湿、直射日光および水濡れを避け、風通しの良い清潔な場所に保管すること。
- ・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- ・ 滅菌済みの 20192-115 及び 20192-116 を貯蔵・保管する際は、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、施設設定の有効保管期間の管理をすること。

●耐用期間（20192-115 及び 20192-116 について）

- ・ 本品の材質の安定性は、【保守・点検に係る事項】に記載された洗浄、消毒、滅菌工程（使用による負荷は伴わない）を 300 回実施することで検証されている。洗浄、消毒、滅菌、使用回数が 300 回に達した際は外観上劣化や破損等が認められない場合でも使用せず、交換すること。また、取扱い方法や使用に伴う負荷の程度によっては、再使用可能な回数が減少し、300 回未満で使用できなくなる場合もある。添付文書に従い本品を取り扱うと共に、【保守・点検に係る事項】の「使用前点検」の項目を参照し、劣化状態等を見極め、劣化、破損等が見られた時は交換すること。
 - ・ 耐用期間の検証は Miele&Cie GmbH&Co.（ドイツ Guetersloh）の洗浄装置 G 7836 CD、洗剤は Dr. Weigert GmbH&Co. KG（ドイツ Hamburg）の neodisher mediclean forte を用い、推奨される洗浄サイクルに従い洗浄、消毒を実施した。
- **・ 用手洗浄・消毒には Johnson&Johnson Medical Limited（英国 Skipton）の洗浄剤 Cidezyme と消毒剤 Cidex OPA を使用した。

【保守・点検に係る事項】

20189-022、20189-024 は洗浄・消毒・滅菌しないこと。
20192-115 及び 20195-116 は洗浄・消毒・滅菌が可能である。

以下の手順を推奨するが、同等の異なる手順は禁止が明記されていない限り可能である。使用者は、適切な方法によって実際の手順が適切かどうかを確認しておかなければならない。（例：バリデーション、日常管理、素材適合性の確認）

●洗浄・消毒

- ・ 使用後は直ちに製品を洗浄、消毒及び滅菌すること。
 - ・ 製造元は機械洗浄・消毒を推奨する。用手洗浄は効果が劣るため、推奨しない。
- **・ 本品は超音波洗浄に対応している。
- ・ 洗浄の際には鋭利なものを使用しないこと。
- **・ 洗浄剤と消毒剤はプラスチック製及び金属製の医療機器に適合するもので、かつ pH5.5～12.3 のものを使用すること。
- ・ 洗浄剤と消毒剤は製造元の指示に従い使用すること。
 - ・ 使用した洗浄剤は十分に洗い流すこと。
 - ・ 本製品は最大 95℃までの温度で機械洗浄・消毒が可能である。

<前洗浄手順>

前洗浄には水を使用し、必要な際には適当な洗浄剤を使用すること。

1. 流水を用いて製品をすすぐ。
2. 柔らかい布を用いて、表面に付着した汚れを落とす。

<用手洗浄・消毒手順>

- ・ 洗浄槽に適合した洗浄剤を使用すること。
- ・ 洗浄槽に使用した洗浄剤に適合した消毒剤を使用すること。

- ・ 器具が清潔である程度乾燥した状態で消毒すること。

1. 洗浄

1. 洗浄槽の製造元の指示に従い、洗浄槽を準備する。
2. 器具の表面が全て洗浄剤に浸かるように洗浄槽の中に配置する。
器具の配置の際には、器具同士が重なったり触れ合ったりしないように注意する。
3. 洗浄剤の製造元の推奨する浸漬時間に従って、器具を浸漬する。
4. 必要に応じて、付着した汚れを柔らかい布で落とす。
5. 器具を注意深く洗浄槽から取り出す。
6. 器具を精製水で少なくとも 1 分間以上すすぐ。
7. 目視できる汚れが残っていたら手順 1. から繰り返す。

2. 消毒

1. 消毒槽の製造元の指示に従い、消毒槽を準備する。
2. 器具の表面が全て消毒剤に浸かるように消毒槽の中に配置する。
器具の配置の際には、器具同士が重なったり触れ合ったりしないように注意する。
3. 消毒剤の製造元の推奨する浸漬時間に従って、器具を浸漬する。
4. 器具を注意深く消毒槽から取り出す。
5. 器具を精製水で少なくとも 1 分間以上すすぐ。
6. 圧縮空気で乾燥させる。

<機械洗浄・消毒手順>

- ・ 国内の規制に従ったウォッシャーディスインフェクターを使用すること。
 - ・ 高アルカリ性の洗浄剤を使用した場合、金属表面が変色することがあるが、製品の品質には影響がない。
1. ケーブルをゆるくまとめ、適切な洗浄バスケットに配置する。その際他の器具に触れないように注意する。
 2. 以下の条件にて検証済みのプログラムを選択し、開始する。
 - －高温消毒（90～93℃で 5～10 分）
 - －精製水でのすすぎ
 - －十分な製品の乾燥

●点検

以下のような破損や磨耗がないことを目視にて確認する。

- ・ ひび割れ、ざらつき、剥がれ、変色などの表面の磨耗や亀裂などの製品の損傷。
- ・ 本品及びケーブル、コネクタ部の絶縁被覆の破損、亀裂、破れ、剥がれ、削れ、磨耗（薄くなる）など。

*●包装

ディスポーザブルの滅菌パック（一重又は二重）に包装するか、滅菌用コンテナに収納する。

●滅菌

- ・ 本品を滅菌する場合は、必ず洗浄・消毒してから滅菌すること。
- ・ 製品を 138℃を超える温度に曝さないこと。
- ・ 乾熱滅菌はしないこと。
- ・ 下記条件における高圧蒸気滅菌を推奨する。他の滅菌方法を用いた場合には品質の保証はできない。

推奨滅菌条件

プレバキューム式

＊－滅菌温度：132℃～135℃

－滅菌時間：3～18 分

滅菌器内への収納、取扱い及び乾燥時間については滅菌器の製造元の推奨に従うこと。

●使用前点検

1. 製品の各部に破損や亀裂、劣化や摩耗（薄くなったり、削れたり、擦れたりした状態）、その他の変形がないことを確認する。
2. 本品の電気手術器、アルゴンガス供給装置への接続が正確でかつ完全であることを確認する。
3. 電気手術器の電源が OFF であることを確認し、本品を電気手術器に接続する。さらに、本品をアルゴンガス供給装置に接続し、接続が確

実であることを確認する。確認後、電気手術器の電源を ON にする。

4. HF テスタを用いて導通試験を実施することを推奨する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

●製造販売業者

株式会社アムコ

TEL：03-3265-4261

●外国製造業者

業者名：エルベ社（ERBE Elektromedizin GmbH）

国 名：ドイツ